

助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人すまいるカフェ
代表者・役職名 氏名 理事長 高倉裕香

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

鳥獣害のない快適な農園でジャガイモ掘りとカレー作りを楽しむ

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

キャッチフレーズ「不要なものから大切なものへ」を目指して、年々増加する耕作放棄地と放置林などを手入れ・耕作しそこから新たな価値を生み出す。農業従事者の高齢化により、放置され朽ち果て捨てられていた果樹などに手を加えて加工品として送り出し、環境保全・地域の活性化に寄与することを目的に 2012 年 12 月 12 日設立

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

親子の絆の希薄になった昨今、様々な親子に畑や農作物を通して、生きることの原点を学んで欲しいとの思いで企画した。発達障害の子を持つ親の団体である NPO 法人「かたつむり」によるジャガイモ掘り、夏休みに親子で「手作りナンとへび瓜カレー作り」を実施するため、鳥獣害から農作物を守り、発達障害の子供達に快適な環境を提供したい!

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

5月初旬—畑周囲に防獣ネット設置 会員+ボランティア
7月2日—「かたつむり」ジャガイモ掘り 20組 40人参加
8月20日—「手作りナンとへびうりカレー親子教室」20組 40人参加 会場:中野市民センター

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

発達障害者団体「かたつむり」のジャガイモ掘りは20組40人が参加。獣害ネットのお蔭で晴天の中、参加家族が生き生きとジャガイモと格闘し、晴れて次々と収穫。ほとんどのメンバーが地面の中のジャガイモを触ったのは初めての経験。楽しいひと時を過ごした。この体験を通して参加者が農業への関心を持つきっかけが作れた。「手作りナンとへび瓜カレー作り」20組40人が参加。はじめて目にする食材を親子で料理し、へびうりの成長過程をパワーポイントで紹介、農産物への関心も高まり、充実した夏休みの思いでを提供できた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

「かたつむり」は毎年ジャガイモ掘りを契約。専門のスペースを確保して取り組むことになり、発達障害の皆さんの就労支援になる一歩が踏み出せた。水回りや手洗いなどないので、もっと環境を整えて、障害者だけでなく、定年退職者や若い農業希望者も交えての交流スペース、情報発信の場にしていきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。 参考資料あり・特になし



ジャガイモ掘りの様子7/2



へび瓜カレー作り講習会8/20

たべるとる
みつめる



たま良



【すまいるかふえ】

2012年12月に設立。農産物や加工品の販売、クッキング教室、小規模農家のための販売ルートの確保など、「ひと、もの、ところをつなぐコミュニティの再生・活性化」を目指している。最大の特徴は、高齢化や後継者不足などで耕作を放棄された農地を再生し、農産物を育てている点。八王子市の市民企画事業にも認定されている。
☎ 042-691-5045
<http://www.smilecafe.or.jp>

“もったいない”で耕作放棄の畑を再生 新鮮な農産物と市民をつなぐ

■ NPO 法人 すまいるカフェ ■



▲この日は6人のスタッフで活動。前列向かって左が高倉さん。
◀畑ではトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、パプリカ、トウモロコシ、カボチャ、スイカ、ハーブ等さまざまな作物を栽培。

「よく農家さんの庭先とかに、実がなりっぱなしの梅や柿の木を見かけますよね。もう農家さんでは要らないから、実は落ちて腐るか鳥のエサになるだけ。そんな果実をもったいないから何かに使ってほしい。使ってほしいから頼まれたのがきっかけなんです」
笑顔でこう語るのは、『NPO法人すまいるカフェ』理事長の高倉裕香さん。「手つかずの果樹や野菜もそうですが、八

会員17名で草むしりから作物栽培、収穫物を使った加工品の製造も

王子には、梅林や栗林・柚子の木などが手入れされていない状態のまま多く点在していることに、あらためて気づかされま

した。もったいないなあ、

何とかできないかなって」と高倉さん。

耕作放棄地とは、過去1年以上の間、作物の栽培が行われておらず、今後も耕作に使われない状態にある農地を指します。放棄されてから長期間が経っていると、それだけ復元が難しく、雑草が茂り、自然環境や景観、防犯などの観点から苦情につながるケースも少なくないそう。その荒れた土地を再生し、作物を実

らせるには、かなりの人手と労力が必要です。そこで2012年12月に『NPO法人すまいるカフェ』を設立。料理好きの主婦や農作業が得意な男性らが集まり、現在の会員数は17名。毎週火・木曜の2日間を活動に充て、草むしりや作物の手入れをはじめ、収穫物を使ったジャムなどの加工品作り、販売会、クッキング教室などのイベントを実施しています。

現在、『すまいるカフェ』が再生中の耕作放棄地は市内に3ヶ所。中でも、今回取材に伺った畑は広さ900坪で、10年以上放棄されていただけに、土本来の力を取り戻すのが大変とのこと。

「こうした農地を増やさないためには、私達の活動を一人でも多くの人に知ってもらい、理解を注目がされます。」



畑での活動の様子を動画で記信中!
動!しゃべろ!AR!
動画を見る方法は、
①面下をチェック!

今後実施予定の主なイベントスケジュール

★鹿島朝市
9/24(日) 10:00～ ※毎月第4(日)
鹿島団地「らいふねっとMOE」前広場
(八王子市鹿島 4-1-102)

★横川町住宅販売会
9/8(金) 14:00～ ※毎月第2(金)
横川町住宅 8号棟前
(八王子市横川町 108-1)
※ともに売り切れ次第、終了



『すまいるカフェ』では、日本では珍しい「ヘビウリ」を使ったカレーづくりのイベントも開催しています。ヘビウリは苦みがなく、ミネラルや食物繊維が豊富なため、インドでは病院食などに利用されている野菜。八王子市内の耕作放棄地で育てたヘビウリ入りのカレーと、ナンを作ります。1人500円。興味のある方は、高倉さんへ☎で問い合わせを。☎ 090-4745-1871

「すまいるカフェ」が再生中の耕作放棄地は市内に3ヶ所。中でも、今回取材に伺った畑は広さ900坪で、10年以上放棄されていただけに、土本来の力を取り戻すのが大変とのこと。

「こうした農地を増やさないためには、私達の活動を一人でも多くの人に知ってもらい、理解を注目がされます。」

耕作放棄地を増やさないために 活動を多くの人に知ってほしい

深めていくことが大事。そして、販売ルートが無いためにせっかくの収穫物がムダになっている小規模農家さんと市民をつなげたり、地元の農産物を使った食育活動など、コミュニティを再生・活性化し、皆さんのお役に立っていきたくです。」と高倉さん。今後の活動が注目されます。

建築家と一緒につくる高性能住宅を、手の届く価格で提供する『R+house 多摩』。主催する勉強会には、この3年で全国で4000人を超えた。マイホームの購入を、検討中の皆さんへ、

はいつかは欲しいけれど、自分はまだまだ...「オシャレな高性能住宅は手が届かないから建築できない最適な時期」2020年の建築基準法省エネ基準義務化について

夏
ジュニア
テニス教室
開催中!!
レッツ!インドア
テニススクール堀之内

☆HP →
「レッツ!インドア堀之内」で検索!

東京都埋蔵文化財センターで
楽しくモノ作り

時12時半～14時16時
▼定員①小学4年生以上の親子10組※1組3名
②中学生以上20名▼申し込み締め切り/8月28日(月)必着